

經濟論叢

第152卷 第3号

飯野春樹教授記念號

献 辞	浅 沼 萬 里	
男女の3Lの充実と日本の経営	赤 岡 功	1
バーナードの文明論	村 田 晴 夫	19
意味と生命システム	庭 本 佳 和	34
企業の目的は何か	西 岡 健 夫	57
合意と目的	田 中 求 之	76
権威の理論の要点	磯 村 和 人	92
組織におけるインテリジェンス	日 置 弘 一 郎	108
医療・福祉におけるサービス技術	田 尾 雅 夫	126

飯野春樹 教授 略歴・著作目録

平成5年9月

京 都 大 学 經 濟 學 會



飯野春樹教授近影

飯野春樹 教授 記念論文集

献 辞

飯野春樹先生は、1994年2月8日に63歳の誕生日をお迎えになり、同年3月31日をもって本学を退官されることとなりました。

先生は、1953年に京都大学経済学部を卒業され、京都大学大学院経済学研究科博士課程の学業を終えた後、1958年に関西大学商学部に迎えられ、講師、助教授、教授として勤務されました。関西大学教授の時代には、商学部長代理、教養部長代理、一般教育等研究センター所長、商学部長などを歴任、研究教育のみならず行政の上でも、同大学の中核を担ってこられました。1985年、京都大学経済学部経営学科の拡充改組が実現し、わが学部が大学紛争期の長い苦しみした後、ようやく新たな発展の糸口を見いだした時に、その発展を担う中心的な人材の一人として、経営政策大講座担任の教授に御就任いただきました。

先生は、学問的生涯の出発点においてチェスター・I・バーナードの組織理論に出会い、それ以来今日まで、徹底した粘り強さと厳密さで、この理論の内部構造と経営研究の上に持つ意義とを正確に解明する仕事に精魂を傾注してこられました。この仕事の中で先生の学位論文となった「バーナード研究」をはじめとする数々の著作が生み出されただけでなく、先生は、日本バーナード協会を成立させ、また、この会の事業としてバーナード生誕百年記念大会を京都大学で開催し、その成果を書物として世に送り出す上で、中心的な役割を果たされました。

さらに、先生は、組織と管理の一般理論の構築に向けて、貴重な思索の成果を多数発表され、組織学会や日本経営学会での活動を通じて、学界に大きな刺激を与えてこられました。

京都大学経済学会は、先生の多年にわたる御功労に対する敬意と感謝の念をこめて、「経済論叢」の本号を記念号として編集いたしました。先生と御交誼の深い、あるいは直接に御指導を受けられた研究者のかたがたから寄せられた論文を編んで本号を先生にお贈りできますことは、私どものこの上ない喜びであります。

先生が健康に恵まれ、今後とも学界のため、また広く社会のため、ますます御活躍下さいますことを、心からお祈りいたします。

1993年8月10日

京都大学経済学部長 浅 沼 萬 里